

シンポジウム

地域の情報発信拠点 としての博物館

— 観光と博物館の連携をさぐる —

参加費
無料

2019年

1月18日 金 13:30-16:30

会場: 北海道博物館 講堂

観光による地域活性化などの取り組みが増加しつつある中、地域資源の「もの」と「情報」を集約・発信していく博物館は、「観光」とどのようにつながってゆくのでしょうか。

本シンポジウムでは、博物館、観光業界などそれぞれの立場からの意見を共有し、相互に対する理解を深め、観光客、利用者、地域住民にとって意味のある、望ましい連携の在り方を議論していきます。

基調講演

「観光立国時代における博物館の役割」

北海道博物館

石森 秀三

講演1

沖縄観光における財団の役割と
沖縄美ら海水族館の取り組みについて

(一財)沖縄美ら島財団

並里 力

講演2

観光業界からみた博物館について

(公社)北海道観光振興機構

田中 洋一

講演3

博物館から見た観光と利用者について

小樽市総合博物館

石川 直章

パネル
ディスカッション

「地域からの情報発信と博物館」

司会 国立科学博物館

小川 義和

※各講演タイトルは調整中

主催：道央地区博物館等連絡協議会、北海道博物館協会、北海道博物館、国立科学博物館

定員：先着100名様（申し込みが必要です）

申込：下記のメールにて受付、締め切り1月14日(月)（定員になり次第〆切）
kensyu@kaitaku.or.jp（道央地区博物館等連絡協議会事務局）

費用：無料

※参加者は、1/18(金)午前中、19(土)の2日間、北海道博物館の総合展示室を無料で御覧いただけます。

お問い合わせ先

道央地区博物館等連絡協議会事務局
(北海道開拓の村事業本部 細川・平井)

〒004-0006

北海道札幌市厚別区厚別町小野幌50-1

TEL: 011-898-2692

FAX: 011-898-2694

※ 本事業は、文部科学省委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」の一環として実施します。